

たくさんの動植物が棲める豊かな森へ ～森林火災による焼け野原からの大復活！！～

巣箱作り教室で作られた巣箱は森に設置され、野鳥たちの家となる



森の自然学校 助川山保全くらぶ

このままでは森が荒れてしまう！

平成3年3月、日立市市街地西側の山地で森林火災が発生。市が跡地を森林公園「助川山市民の森」として整備したが、継続的な森林保全管理が行われないと、森林公園の機能や魅力が損なわれてしまう…。

生物多様性のある豊かな里山をつくろう！

公園整備中に自主的にゴミ拾いをしていた有志が集まり、豊かな里山づくりを行うべく立ち上がった。

単層林からの脱却

火災によって、単層林となった山は、動植物が棲みにくい環境となっていた。

状況を打開すべくドングリの木の植樹。地道で永い戦いが始まった…。

里山を守り続けるために

気が付けば、活動は15年以上続き、植樹本数は7,000本以上に！

里山づくりは一代で終わる活動ではない。豊かな自然を作り上げ、守り続けるためには次世代の地域の子供たちに継承していかななくてはならない。

地域や次世代の子供たちのために

植樹作業は地域の子供たちと行ってきた。自然と触れ合うことで、子供たちは自然環境を守る心を知る。そして、自分たちで植樹をすることで郷土を愛する気持ちが芽生える。

地域を守る為に、次世代の子供たちの郷土を守る為に、継続して活動に取り組みたい。

想い

軌跡



豊かな感性を育む子供たちとのハイク



地域イベントで木工教室を開催



くらぶのメンバー

子供たちが植えた木々が、里山を豊かにしていく

【主な活動実績】

平成10年 任意団体としてボランティア活動開始

平成14年 日立市より「公園パトロール」を受託

平成16年 日立市と「公園里親協定」を締結

平成16年 組織を任意団体からNPO法人に変更

〔参考URL〕 <http://www.net1.jway.ne.jp/zg6y-hri/>